

027	1001	事務事業名	埋蔵文化財試掘・本発掘調査	細事務事業名		公的関与	1						
PLAN	課名	歴史民俗資料館	係名	学芸係	電話番号	089-964-0701	メールアドレス	rekimin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち	政策項目	4 芸術・文化の振興		主要施策	(3)文化財の保存・活用					
	事業の対象	周知の埋蔵文化財包蔵地内での土木工事等				根拠法令	文化財保護法						
	事業の目的	最終的	周知の埋蔵文化財包蔵地内での土木工事に先立ち、試掘・発掘調査を実施し、埋蔵文化財を保護すること。			今年度							
	活動内容		土木工事等が周知の埋蔵文化財包蔵地に該当しない赤同化の事前協議を行います。(建設部局からの合議という方法で実施)				試掘・確認調査の報告書を作成し、県教委へ進達します。県教委からの指示を事業者へ送付します。						
			事業者から市へ周知の埋蔵文化財包蔵地での試掘・確認調査の依頼。				出土物があった場合は遺失物法による届出を行います。(後に県から市へ譲渡。展示等で活用します。)						
			必要に応じて、試掘・確認調査を行います。(試掘・確認調査の一部は業者へ委託して実施)										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標			
				事業の性格上、指標設定になじまない。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費					
	直接事業費		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算	平成 26 年度予算	備考							
		国・県支出金	25,410 千円	5,250 千円	6,828 千円	事業費は、民間土木工事と公共土木工事に係る試掘・確認調査委託料と消耗品です。							
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	1,774 千円	1,975 千円	19,036 千円								
		計(A)	27,184 千円	7,225 千円	25,864 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.173 人 1,046 千円	0.154 人 938 千円	0.345 人 2,074 千円								
		臨時職員工数・経費	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円								
	全体事業費(A+B)		28,230 千円	8,163 千円	27,938 千円								
一次評価者	学芸係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	民間委託等
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	国民の財産である埋蔵文化財を保護するために、周知の埋蔵文化財包蔵地内での埋蔵文化財の有無、範囲、時代等を把握するための方法として試掘・確認調査は必要です。												
有効性	試掘・確認調査を実施することで、地下にある遺跡の有無、範囲、時代等を把握することで、工事に対し遺跡の保存等、協議を行うことができる。												
達成度	周知の埋蔵文化財包蔵地内での土木工事等は、建設部局からの合議(事前協議)で確認を行っており、埋蔵文化財包蔵地内で無届工事の防止という面では目的を達成しています。												
効率性	対象となる土木工事の内、未調査箇所や工事内容によって試掘・確認調査を実施します。実施済の箇所は、過去の調査データを参考とします。												
当面の課題	担当者が1名であるため、長期間の発掘調査等と重なった場合は、調査時期の調整が難しい場合もある。												
改革計画	試掘・確認調査が必要な場合は、できるだけ調査を早く実施することや、他調査と重なった場合は調整を行い、スムーズに調査が完了し、県教委からの工事指示書を事業者へ渡すようにしている。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	・歴史民俗資料館には埋蔵文化財の調査に対応できる職員が1名しか在籍せず、調査を行なう時に時間的な制約や他の業務への支障が生じるため、改善が必要と考えられる。												

027	1002	事務事業名	文化財保護事業	細事務事業名		公的関与	1
-----	------	-------	---------	--------	--	------	---

PLAN	課名	歴史民俗資料館	係名	学芸係	電話番号	089-964-0701	メールアドレス	rekimin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度	期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	4 芸術・文化の振興		主要施策	(3)文化財の保存・活用				
	事業の対象	指定文化財(国・県・市の指定文化財所有者または管理責任者)				根拠法令	文化財保護法						
	事業の目的	最終的	文化財の保護と活用			今年度							
	活動内容	重要文化財建造物の防災防火事業 重要文化財建造物の消防設備点検と防火訓練				指定文化財保存育成事業 指定文化財の所有者または管理責任者に対して、毎年、保存育成補助金また管理費補助金を交付							
		指定文化財等周辺の除草清掃 向井古墳、ピクシン、層塔及び五輪塔群等の除草清掃(一部委託)											
		指定文化財説明看板設置 老朽化看板取替(宇氣洲神社社叢 三輪田米山筆三十六歌仙絵馬 経塚(猿塚))											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標			
				文化財の保護と活用保存・継承が目的のため、成果指標には適さない。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費					
	直接事業費		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算	平成 26 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	1,505 千円	1,277 千円	1,664 千円								
		計(A)	1,505 千円	1,277 千円	1,664 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.377 人	2,280 千円	0.377 人	2,297 千円	0.377 人	2,267 千円					
臨時職員工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		3,785 千円		3,574 千円		3,931 千円							
一次評価者	学芸係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	文化財は保存・伝承により後世に継承されます。文化財の所有者や継承団体による保存・伝承は、国民の財産である文化財の保存・伝承そのものといえます。特に指定文化財の保護については、行政が保護する必要があります。												
有効性	文化財に対する認識や歴史的価値観の周知等を正しく行うことは、地域に伝わる文化財の保存、活用、再発見等につながります。文化財の保護(保存・伝承)は郷土の文化の継承に有益であると考えられます。												
達成度	指定文化財の保存や伝承は問題なく継承されています。また後世に引き継いでいくことが必要であるため、今後も文化財保護活動を継続していきます。現在のところ、伝承事業の衰退や指定文化財の破損はありません。												
効率性	文化財の保存・伝承は、有形文化財、天然記念物、無形民俗文化財によって方法等が異なります。そこで、国や県などそれぞれに適した保存・伝承の情報や方法を取り入れ、実施しています。												
当面の課題	指定文化財の所有者や伝承者には、県の文化財巡視員からの巡視情報をはじめ、必要な情報の提供に努めていますが、68件の指定文化財すべての状況把握は、難しく所有者・管理者との連携協力が必要です。												
改革計画	指定文化財の所有者や伝承者が行う保存や伝承の状況について、年1回の市補助金申請時にて文書で報告を受けています。その報告に基づいて現地調査を行うなど、文化財所有者や管理責任者と協力しあえる体制づくりに努めています。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	先人から受け継がれてきた文化財を、次の世代へ引継ぐことが文化財保護の大きな目的です。次世代へ文化財を引継いでいけるよう、所有者・管理者の方と連携し保存・育成を行なって下さい。												

No.	027	—	1007	事務事業名	文化財整備事業	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	歴史民俗資料館	係名	学芸係	電話番号	089-964-0701	メールアドレス	rekimin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ハード事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	4 芸術・文化の振興		主要施策	(3)文化財の保存・活用				
	事業の対象	向井古墳（北吉井樋口地区にある6世紀の古墳）				根拠法令							
	事業の目的	最終的	向井古墳を史跡公園として整備しようとする事業です。墳丘部を中心に、史跡として保存します。子どもをはじめ、市民が郷土史を学ぶ場所として、また身近な史跡公園として利用することを目的としています。			今年度	向井古墳を史跡公園とするため実施設計を行った。						
	活動内容	①	向井古墳史跡整備検討委員会で、整備工事の方法を協議した。			④							
		②	向井古墳周辺の除草作業を年2回実施。			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標			
				事業の性格上、指標設定になじまない。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費					
	直接事業費		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算	平成 26 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	7,468 千円	5,019 千円	46,696 千円								
	計(A)	7,468 千円	5,019 千円	46,696 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.064 人	387 千円	0.064 人	390 千円	0.064 人	385 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		7,855 千円	5,409 千円	47,081 千円								
一次評価者	学芸係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	市民の貴重な財産である古墳遺跡を行政は、保存・継承していく必要があります。												
有効性	地域の文化財の保存・継承は、郷土の文化の向上に有益です。												
達成度	向井古墳を史跡公園として整備するため、整備検討委員会を設置し、整備方法を検討しています。25年度は、実施設計、26年度は史跡工事となります。												
効率性	向井古墳の整備方法は、遺跡整備に実績のある業者の提案するプランをベースに遺跡保存の専門家、有識者、地元自治会関係者で構成する整備検討委員会において検討しています。												
当面の課題	向井古墳について、市民の皆さんに認識を新たにしてくださいよう努めなければいけない。												
改 革 画	向井古墳に関するソフト事業を準備・実行し、多くの市民の方に訪れて頂くようにする。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	・平成26年度に史跡公園の整備を行っており、完成後は近隣の文化財等を含めて、市民の皆様が「史跡めぐり」(史跡ロード)ができるような計画を策定して下さい。												

027	1010	事務事業名	歴史民俗資料館運営事務	細事務事業名	歴史民俗資料館運営事務	公的関与	1
-----	------	-------	-------------	--------	-------------	------	---

PLAN	課名	歴史民俗資料館	係名	学芸係	電話番号	089-964-0701	メールアドレス	rekimin@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度	期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	4 芸術・文化の振興		主要施策	(4)歴史民俗資料館の充実				
	事業の対象	歴史民俗資料館				根拠法令							
	事業の目的	最終的	歴史民俗資料館の管理				今年度						
	活動内容	民俗資料館の修繕				備品の購入							
		民俗資料館展示室のクリーニング清掃											
		事務用消耗品等の購入											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標		
				事業の性格上、指標設定になじまない。			目標						
					実績								
					目標								
					実績								
					目標								
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費			
	直接事業費		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算	平成 26 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	24 千円	19 千円	19 千円								
		一般財源	1,527 千円	1,278 千円	1,238 千円								
		計(A)	1,551 千円	1,297 千円	1,257 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.092 人	557 千円	0.092 人	561 千円	0.092 人	553 千円					
臨時職員工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		2,108 千円		1,858 千円		1,810 千円							
一次評価者	学芸係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	施設の管理では、収蔵庫、展示室の空調管理が重要です。また、施設の大規模改修については、図書館と一体のため、図書館との協調が大事です。												
有効性	収蔵物を損なわない管理が重要です。また、展示施設でもあるため、来館者が利用しやすい環境の保持と情報提供に努めています。												
達成度	施設の大規模な改修工事等は予定されていませんが、修繕については速やかに対応し、来館の方へ不都合が生じないようにしています。												
効率性	市立図書館の3階にあります。そこで、階段壁面に展示PR用のパネルを掲示しています。												
当面の課題	建物自体が築20年以上経過しており、老朽化による修繕箇所や、機器の故障が年々増加しています。												
改革計画	講座は中央公民館を利用しています。老朽化や耐震対策など大規模な修繕工事については、図書館の将来の大規模改修計画に含めて行います。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	・歴史民俗資料館は、東温市の文化財や歴史情報の中心となる施設です。企画展示や講座などを工夫し、入館者利用者の増加に努めて下さい。また、設備の老朽化や収蔵庫の不足等の問題もありますが、将来的な計画を持って対応するようにして下さい。												